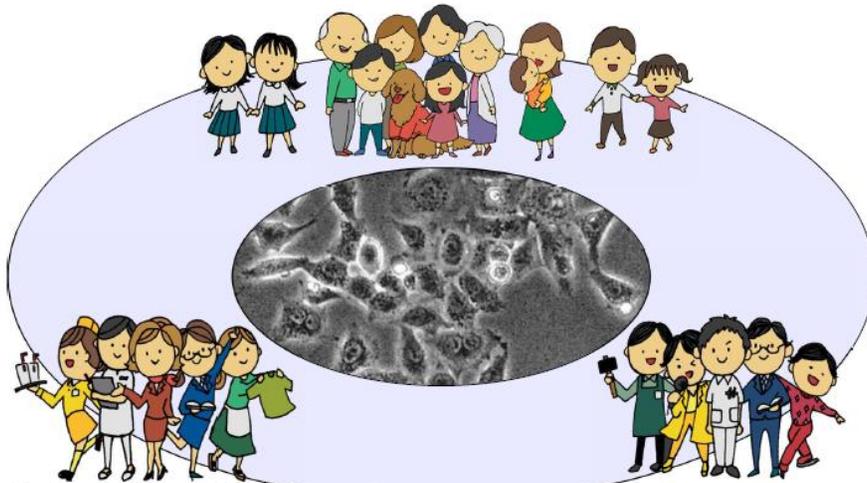


われらの健康を陰で支えている

# 人体から切離された臓器・組織・細胞が 直面する問題の解決に向けて

市民の立場からなにができるか

法学、医学、社会学などから討論者7名を迎えての検討会  
Zoomで視聴、質問にもお答えします！



臓器も組織も生きた細胞が支えている—写真はヒト腎臓由来培養細胞の一例(ウイパ®ディAHEK293細胞)

ヒトの臓器・組織・細胞(以下ヒト組織)が身近でどのように取り扱われているか意識することはほとんどないでしょう。それでもヒト組織は移植医療だけでなく、ウイルス検査、ワクチンなど医薬品の研究や製造、化粧品・食品の安全性や機能性の検査などに活躍し、知らぬ間に私たちはその恩恵にあずかっています。ヒト組織は有志者から提供されていますが、国内では提供の意思があっても十分に進まず、外国に頼っている場合も多く、さまざまな困難が生じています。原因はどこにあるのか、市民が果たせる役割はなにか、ヒト組織の取扱い状況と問題点の把握、解決策の提案、そして討論者による批判と評価を行います。登録された方は時間内で自由にご視聴ください。

事前に検討会資料を郵送、検討会終了後に寄せられた質問に回答します

日時：2022年5月22日(日)14:00~16:30

費用：市民登録は無料 (先着50名様限定)  
特別登録は10,000円 (有志あるいは社用の方)

申込：問い合わせサイト <https://hascross.yokohama/contact/>  
(‘hascross 問い合わせ’で一発検索) お名前、メールアドレス、「ヒト組織検討会」、  
「市民登録」あるいは「特別登録」のどちらか、を記入ください。折返しご案内します。

